

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (1 3)

| | | | | |
|-----|-------------------------------|------|-------------|---------------|
| 団体名 | (特非)神戸の冬を支える会 | 代表者名 | (職名) 理事長 | (氏名) 森山 一弘 |
| 事業名 | 生活困窮、困難者への緊急支援とその支援ネットワーク構築事業 | | | |

< 事業実施実績 >

| 年月日 <small>定例は「月1回」 「毎〇曜日」等で記入</small> | 場所 | 参加者 <small>一般 (スタッフ)</small> | 活動内容 <small>(勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記</small> |
|---|--------|-------------------------------------|--|
| 2025年4月～2026年2月(随時) | 姫路事務所 | 280 (280) | 緊急的な支援の必要な方の相談を受け、必要な支援の検討、紫煙計画の策定及び関係機関との協議の実施 |
| 2025年4月～2026年2月(随時) | 姫路事務所 | 85 (85) | 住居確保等と同時に緊急支援(食料、布団等)の提供 |
| 2025年4月～2026年2月(随時) | 姫路事務所他 | 98 (98) | 必要に応じ自宅訪問(見守り、相談のフォローアップ)、関係機関等との連絡、連携したサポートの実施 |
| 2025年4月～2026年2月(随時) | 姫路事務所他 | 165 (165) | 自宅、居所への訪問、相談活動の実施(関係機関との連携) |

< 効果と成果 >

住居を失ったり、失いそうだ、生活に困窮し食べるものにも困っているという相談、刑事施設から社会復帰するが帰住先がなく困っているという相談は文字通り途切れることなく寄せられ、まずは相談をお聞きし、生活基盤を確立し、生活できる環境作りのサポートを行った。その際、住居を確保や生活保護の利用のサポートを実施したが、家財所持金の持ち合わせもない方も数多くおられ、その場合は、緊急的支援として安心して眠ることのできる環境を保障するために布団セットの提供を行うとともに食料品の提供を行った。また、生活困窮状態で食糧を購入することもできないという相談には、必要な制度へつなぐサポートを実施するとともに、食料等の提供の緊急支援も行った。布団セットの提供は34人、食料、カセットボンベ等の提供25人、相談人数は280人であった。相談・支援活動及び緊急支援の実施により相談者との信頼関係を築くとともに、その方が抱える諸問題の解決に向けた必要なアドバイス、関係機関と連携して支援することも多く、共に支援に取り組む中で問題を共有できたことは今後の困窮者等の支援の環境整備につながったと考えている。

< 今後の展望 >

生活上の様々な困難や困窮が社会的なものであり、その解決は社会的になされる必要があります。そのためには行政の施策だけでなく、NGO、NPOなど民間セクターの果たす役割は極めて重要です。それが単なる下請けのようなものではなく、対等なパートナーとして役割を果たしていくという視点を常に持ち続けていきたいと考えています。また、そのために緊急支援を含め実際の現場での取り組みをさらに充実させて、ネットワークを充実させるとともに、今後の必要な支援の在り方や施策についても問題提起、提案をしていくことが求められていると考えています。

< 収支決算書 >
(収入)

| 項 目 | 金 額 (円) |
|-----------------|---------|
| 地域づくり活動NPO事業助成金 | 409,000 |
| 自己資金等 | 792 |
| 合 計 | 409,792 |

(支出)

| 区分 | 項 目 | 金 額 (円) | 左のうち 助成対象金額 (円) |
|------------------|--------------|---------|--------------------|
| 直 接 経 費 | 緊急支援費 | 383,532 | 382,740 |
| | 交通費 | 26,260 | 26,260 |
| | 小 計 | 409,792 | 409,000 |
| | 間接経費 (一般管理費) | 0 | 0 |
| | 合 計 | 409,792 | 409,000 |